

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事項	特定鳥獣保護管理計画推進事業費							予算主管課	自然保護課
	事業概要	第二種特定鳥獣管理計画(適正管理計画)に基づき、ニホンジカ、イノシシの適正な個体数の維持・管理、農林業の被害軽減を図るため、ニホンジカ、イノシシの捕獲事業を実施する。								始期	H21
										終期	R8
	K P I	ニホンジカの捕獲頭数（狩猟、有害鳥獣含む）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R 3 年 度	時点・期間	R 5 年 度	時点・期間	R 6 年 度	時点・期間	R 7 年 度	時点・期間	R 8 年 度
		現状値	10810 頭	目標値	10900 頭	目標値	10950 頭	目標値	11000 頭	目標値	11050 頭
				実績値	R6.10月頃 頭	実績値	頭	実績値	頭	実績値	頭
				達成率	- %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	30,000 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		23,518 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） （令和6年10月頃実績判明）※実績判明後に要因分析し記載します。									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） （令和6年10月頃実績判明） ※実績判明後に要因分析し記載します。									
2	当初	事項	生物多様性えひめ戦略推進事業費							予算主管課	自然保護課
	事業概要	平成28年度に策定した「第2次生物多様性えひめ戦略」に基づき、生物多様性の保全推進、外来生物対策、生物多様性の認識度向上、人材育成・ネットワーク体制の構築等に取り組む。								始期	H18
										終期	
	K P I	生物多様性について理解をしたと回答した参加者割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	未調査 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
				実績値	96.7 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	96.70 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	21,534 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		19,787 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 生物多様性の保全には希少野生動植物の保護や外来生物対策等の様々な取り組み必要であり、その保全活動を担う人材を育成・拡充するため、広く県民が参加する調査事業や活動発表等を展開しているところであり、幅広い層を対象に事業を継続し理解度を深めていく必要がある。									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） イベント参加者に対し、関心を高められ、よりわかりやすい内容の説明に取り組むこととしたい。									

3	当初	事項	鳥獣保護管理事業費							予算主管課	自然保護課		
	事業概要	法律に基づき、狩猟免許の試験や登録、指導・取締り等を実施するとともに、狩猟の魅力を発信し、狩猟者確保に取り組む。								始期	S38		
										終期			
	K P I	狩猟者登録数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R 4 年度	時点・期間	R 5 年度	時点・期間	R 6 年度	時点・期間	R 7 年度	時点・期間	R 8 年度		
		現状値		目標値	4400 人	目標値	4600 人	目標値	4800 人	目標値	5000 人		
			4231 人	実績値	4203 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人		
				達成率	95.52 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%		
	コスト		最終現計予算額	17,973 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円			
決算額			16,492 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円				
5 年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>狩猟者登録数は、第一種銃猟が減少し、わな猟などが横ばいとなった。近年、わな猟登録者は増加傾向が続いているが、第一種銃猟狩猟免許所持者は、昭和から平成初期にかけて取得された方の高齢化が進んでいるため、全体の登録数は令和4年度から若干の減となった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>											
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>狩猟免許取得者、特に新規に免許を獲得する者に対し、狩猟者登録について周知を図る。また、新規狩猟者に対し狩猟者登録を行った上で、フォローアップ研修を実施する。</p>										

4	当初	事項	A I 活用えひめの自然発見事業費							予算主管課	自然保護課		
	事業概要	小中学生や自然保護団体など幅広い層を対象に、アプリのAIを活用して身近な生き物を調査するイベントを実施。地域の自然や生き物への関心を高め、生物多様性の保全の重要性について認識を深める。								始期	R5		
										終期	R5		
	K P I	スマホアプリ「バイオーム」投稿数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R 4 年度	時点・期間	R 5 年度	時点・期間	R 6 年度	時点・期間	R 7 年度	時点・期間	R 8 年度		
		現状値		目標値	70000 件	目標値	90000 件	目標値	110000 件	目標値	130000 件		
			約50,000 件	実績値	86442 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件		
				達成率	123.49 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%		
	コスト		最終現計予算額	3,648 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円			
決算額			3,548 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円				
5 年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>アプリを活用して干潟、河川、ため池と特徴が異なる3か所で生き物調査を実施したほか、テーマを設定して生き物を投稿するイベントも開催したことで、アプリ利用者が広がり、投稿数の増加につながった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>デジタル技術(アプリ)を活用した取組を、小中学校や自然保護団体など幅広い層を対象に展開することで、生き物への興味関心を高めることができた。県の生物多様性に関する計画「第二次生物多様性えひめ戦略」の指標を、同KPIに採用しており、今後もアプリの継続的活用を推進するとともに、生物多様性にかかる普及啓発を努める。</p>											
	見直し方向性		<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p>										